

ちば産学官連携プラットフォーム 単位互換共通シラバス

大学名 ※	神田外語大学	学部・学科名 ※	外国語学部
科目名 ※	東南アジアの宗教と文化 I D	単位数 ※	2
開講学期※	前期	曜日・時限 ※	月・1時限
キャンパス※	幕張キャンパス	教室※	未決定
学修分野			
授業目的 ※	For students to learn about Thai music culture and can Thai singing & dancing		
到達目標			
授業内容			
授業形態	対面		
評価方法 ※	1. Thai singing test, Loa Duangduean song (30%) 2. Thai standard dance test, Ying Thai Jai Ngam (25%) 3. Thai standard dance test, Yod Chai Jai Han (25%) 4. Final Exam (20%)		
評価基準			
テキスト			
注意事項	この表はシラバス情報の一部となります。履修を検討される方は、必ず本学のホームページ上（ https://www.kandagaigo.ac.jp/kuis/main/target/student/ ）からシラバス検索で該当科目を確認をしてください。		
授業シラバス			

※は必須記入事項

ちば産学官連携プラットフォーム 単位互換共通シラバス

大学名 ※	神田外語大学	学部・学科名 ※	外国語学部
科目名 ※	国際社会論Ⅰ	単位数 ※	2
開講学期※	前期	曜日・時限 ※	月・1時限
キャンパス※	幕張キャンパス	教室※	未決定
学修分野			
授業目的 ※	本講義の目的は以下の通りである： 1) アジアとヨーロッパの間で揺れ動くオーストラリア社会の姿を、主に移民史と移民政策の観点から理解すること。 2) オーストラリアへのステレオタイプを脱し、アジアとオーストラリアの関係について、異文化理解・多文化共生という観点から考察し、異文化理解・多文化共生についての多様な姿を考察すること。 考察対象は、i)移民政策とアジア太平洋地域との関係、ii)多文化共生の実現に至る、エスニック関係の言説の変容、iv)ナショナリズムの変容、である。本講義は動画や写真を随時授業の中で用いながら、体験的に受講者の理解を深めるようにしていく。これにより、文化の多様性及び異文化交流の意義について体験的な理解が可能になる。本講義は、単なる世界史の講義などではない。常に参照点を現在におき、世界史等の知識の前提がなくても、興味関心を持って内容を理解できるように授業を進める。なお、オーストラリアで起きる現象には、他地域の社会変化が大きく影響していることが多い。したがって、必要に応じて、他地域と関連させながら解説をする。 詳細は第1週に説明するので、必ずガイダンスに参加すること。第1週ガイダンスから出席を取り、受講票の提出を求める。参加がない場合は履修を認めないことがある。 この授業では、毎回の受講票提出、さらには、中間レポートが4000字以上の分量で課せられるなど、ラクタンなどではない。授業態度を含め、多くの要素が成績評価に加味される。ふざけた態度の学生は単位を取得できない。 必要な準備学習 予習：授業と関連する情報の各自での調査や指定箇所を読んでくる（1時間）。 復習：配付資料とテキスト、自筆ノートの復習（1時間） 以上により、本学のカリキュラム・ディプロマポリシーである「高度の外国語運用能力を涵養すると共に、専攻言語圏の様々な事柄に対する知識を教授することで、豊かな教養を有し国際社会に貢献しうる人材の育成」と「高度の外国語運用能力と広い一般知識及び深い専門知識を身につけさせると共に、我が国の伝統文化を究明し、諸外国の文化を理解し、国際社会の一員として世界に貢献し得る人材の育成」、さらに、「多文化共生が求められる社会情勢のなかで、高度の英語運用能力を身につけさせると共に言語としての英語及び英語圏の様々な事柄に対する知識を教授することにより、豊かな教養を有し国際社会に貢献しうる自立した人材を養成する」ことに寄与することを目的とする。		

到達目標	
授業内容	現在の多文化的なオーストラリアは、いかにして成立してきたのか。アジアとヨーロッパの間で、オーストラリア社会はどのような社会変容を経験してきたのか。本講義は、オーストラリア社会を対象に、1788年の「発見」を経て「多文化主義的国家」に至るまでの過程を、社会学的な視座から考察する。オーストラリアの歴史は異文化理解と多文化共生の歴史でもある。異文化理解や多文化共生とはどのようなことを意味するのか、さまざまな事例を扱いながら考える。
授業形態	対面
評価方法 ※	1)成績は、授業への貢献と毎回の受講票（40％）、中間レポート（30％）、期末試験（30％）に拠る。 2)毎回、受講票の提出がある。各回ごとに10段階で評価する。 3)中間レポートは、4000字以上である。4000字に満たないレポートを提出した者は単位を取得できない。
評価基準	
テキスト	
注意事項	この表はシラバス情報の一部となります。履修を検討される方は、必ず本学のホームページ上（ https://www.kandagaigo.ac.jp/kuis/main/target/student/ ）からシラバス検索で該当科目を確認をしてください。
授業シラバス	

※は必須記入事項

ちば産学官連携プラットフォーム 単位互換共通シラバス

大学名 ※	千葉経済大学	学部・学科名 ※	経済学部・経済学科
科目名 ※	財政学Ⅰ	単位数 ※	2
開講学期※	前期	曜日・時限 ※	月-2
キャンパス※		教室※	307
学修分野			
授業目的 ※	本講義は、財政学の基本的な知識を習得し、わが国の政府活動を論理的な視点で考えることができるようになることを目的とする。財政学の研究分野は、所得税や消費税などの租税、政府の借金である国債、年金や医療などの社会保障、道路や橋梁のような公共事業などと多岐にわたる。そのため、本講義では、多岐にわたる財政学の基礎理論を学んでいく。また、地方公務員試験等の受験に役立つ知識と応用力をつけるため、公務員試験の過去問を取りあげながら、財政学の基礎理論を学んでいく。なお、この科目は卒業認定・学位授与方針うち、特に【経済学に関する専門知識・思考力・表現力】に資する科目です。		
到達目標	財政学に関する基礎力を身につけ、財政制度や機能・役割を理解できること。加えて、現実の政府活動を論理的な視点でみるができるようになること。現実の制度やルールを理解した上で、その制度（ルール）の含意を論理的に読みとり最適な行動をとることができるようになること。		
授業内容 授業形態 ※	第1回 ガイダンス（講義の内容と進め方・財政学を学ぶ意義について） [予習0時間、復習2時間] 第2回 財政の3機能と国民経済との関係[予習0.5時間、復習3.5時間] 第3回 予算制度[予習0.5時間、復習3.5時間] 第4回 租税制度①（租税の分類など）[予習0.5時間、復習3.5時間] 第5回 租税制度②（租税原則の基本原則など）[予習0.5時間、復習3.5時間] 第6回 社会保障制度①（社会保障の種類と機能など）[予習0.5時間、復習3.5時間] 第7回 社会保障制度②（給付と負担、現状など）[予習0.5時間、復習3.5時間] 第8回 公債発行と公共投資[予習0.5時間、復習3.5時間] 第9回 財政投融资制度[予習0.5時間、復習3.5時間] 第10回 国と地方の財政関係①（政府の分類と予算構造など） [予習0.5時間、復習3.5時間] 第11回 国と地方の財政関係②（補助金制度など）[予習0.5時間、復習3.5時間] 第12回 財政政策の経済効果①（国民経済計算、三面等価の原則など） [予習0.5時間、復習3.5時間] 第13回 財政政策の経済効果②（有効需要と乗数メカニズムなど） [予習0.5時間、復習3.5時間] 第14回 財政政策の経済効果③（45度線分析による財政政策の経済効果など） [予習0.5時間、復習3.5時間] 第15回 わが国の財政政策[予習0.5時間、復習5.5時間] ※講義内容については、履修者の理解度に応じて、講義の順番や内容を変更する場合があります。		

評価方法 ※	・ 定期試験（持ち込み不可）の成績100%によって評価する。 ・ 講義で扱った問題については、講義内で問題解説をするなどのフィードバックを履修者に行う。
評価基準	
テキスト	特に指定しない。（資料を配布する）
注意事項	・ 成績評価の詳細や教科書、予復習の方法については、初回ガイダンスにて説明を行う。
授業シラバス	https://syllabus.cku.ac.jp/syllabusgaku/default.asp?cdga=1

※は必須記入事項

ちば産学官連携プラットフォーム 単位互換共通シラバス

大学名 ※	淑徳大学	学部・学科名 ※	総合福祉 コミュニティ政策
科目名 ※	政策過程論	単位数 ※	
開講学期※	2022年度 前学期	曜日・時限 ※	月曜2限
キャンパス※	千葉キャンパス	教室※	15-202
学修分野			
授業目的 ※	本授業は国の予算編成を通じた政策形成の過程、国会における立法過程を通して、行政及び立法の政策担当関係者がアクターとしてどのように関わって政策判断を行うかを学び、政策課題を分析・検討することができる力を身に付けることを目的とする。		
到達目標	国の予算編成過程における基本的な政策判断の考え方を理解し、国の重要な政策形成における「バランスと調整の方法」について自分なりの意見を、論理的に説得力を持って他者に説明することができる。		
授業内容 授業形態 ※	本授業は国の予算編成過程をベースに、政策過程及び政策判断における基本的な考え方を修得する。国の予算編成には行政の政策立案者、経済界等の利害関係者、予算を審議する国会議員等の立法関係者など複数の主体が関係する。複数の主体に生じる権利と利益の配分とバランス、調整を通じた政治的な動き、集合体による意思決定の問題を検討する。 授業は、2022年4月から執行されている2022年度予算の概要を確認した上で、1年間の予算編成過程を検討する中で、特殊要因である補正予算編成の政策過程も検討する。予算の主要経費である社会保障関係費、公共事業関係費、防衛関係費の予算計上は政策形成と密接に関連するので、当該経費を巡るアクターの政策判断を検討する。さらに、国会における予算審議を具体的に見ながら、政治の観点からの政策過程についても検討する。 授業形態は新型コロナウイルス感染の状況に応じて変化する可能性があるため、2つの授業形態別に記す。 【対面授業】 講義では冒頭の10分程度で前回の講義を振り返る。次に10分程度で学生相互において事前学習の成果を共有する。その後、該当回の内容を60分程度で解説する。残りの10分程度で授業内容について学生相互で振り返りを行う。時事的な社会の動きによっては重要な政策決定が行われるので、必要に応じて講義内容や時間配分の変更を行い、あるいは学生によるプレゼンテーションを求めることもある。授業時間内にコメントやリアクションペーパー作成を求め、双方向の授業を行うこともある。 【遠隔授業】 講義の冒頭で、授業の解説動画を視聴する。その後、授業内で出された課題に取り組み、提出する。なお、受講生間での意見交換やグループ討議などのアクティブラーニングの機会を設ける。また、教員との間での質疑応答は、メールで行う。		

評価方法 ※	事前事後学習の成果、レポートの成果、授業内で行う確認テストで総合評価する。
評価基準	事前事後学習の成果：20点、レポートの成果：30点、確認テスト：50点。 S：100～90点、A：89～80点、B：79～70点、C：69～60点、D：60点未満
テキスト	※この科目では指定の教科書はありません。授業内で使用する資料等については、別途授業内でご案内いたします。
注意事項	政策学概論、法律学概論の内容を復習しておくこと。
授業シラバス	「ログイン画面へ」のボタンをクリックし、「ゲストユーザー」の文字をクリック、「シラバス照会」をクリックするとシラバス検索ができます。 https://passport-web.soc.shukutoku.ac.jp/up/faces/up/co/Com02401A.jsp

※は必須記入事項

ちば産学官連携プラットフォーム 単位互換共通シラバス

大学名 ※	神田外語大学	学部・学科名 ※	外国語学部
科目名 ※	Ways of Learning English A	単位数 ※	4
開講学期※	前期	曜日・時限 ※	月2・木4
キャンパス※	幕張キャンパス	教室※	未決定
学修分野			
授業目的 ※	Many of you have studied the English language for many years, but what is the best way to improve your skills? Many of you say that you want to improve your English, but what in areas of your English language learning do you feel you need the most improvement? What is your current language learning self-development plan and how often do you stick to it? What makes someone a proficient English speaker and listener, or a proficient English reader and writer? Does sounding like a native speaker of English really matter in today's world? How aware are you of various technological tools to support your language learning? How does teaching English to someone help you to learn more about English? These issues will be explored in depth in this course. In this term, you will first learn in more detail what it takes to be a proficient speaker, listener, writer and reader in a foreign language. You will also create a detailed and specific plan of improvement to further develop your language proficiency over the term, and report regularly on your progress. You will get experience in creating language learning materials for your classmates. You will also better understand language learning through lesson planning and teaching with others, incorporating technology when needed. Finally, you will submit a final language learning "E-portfolio" developed using Google Documents that reports on all of your language learning successes, failures and self-reflections over the entire term. Overall, the course is not only designed to enhance your awareness about how to make the best of your language learning, but to help you develop practical goal-setting and planning skills that can be used throughout your everyday lives. .Materials will be provided by the professor. The course is ideal for second-year to fourth-year students who want to continue to improve their ongoing goal-setting and planning skills. First-year students will be encouraged to take this course when they become sophomores. Details regarding class structure will be discussed on the first day.		

到達目標	By the end of this course, you will be able to... i) articulate and organise a specific plan of action to improve your English proficiency based on the SMART framework (specific, measurable, achievable, relevant, time-bound) ii) use terminology relating to English language pedagogy/TESOL to explain your language proficiency iii) provide practical and useful feedback and support to others in their language learning efforts iv) develop interpersonal collaboration skills through the practice of lesson planning and teaching v) enhance your report writing skills vi) develop your goal-setting and planning skills vii) use the SWOT Analysis framework to effectively identify your individual strengths and weaknesses, as well as external opportunities and threats to the achievement of your goals
授業内容	
授業形態	対面
評価方法 ※	Final Language Learning E-Portfolio (30%) Teaching / Learning Demonstration (20%) Attendance and Classwork (30%) Homework (20%)
評価基準	
テキスト	
注意事項	この表はシラバス情報の一部となります。履修を検討される方は、必ず本学のホームページ上（https://www.kandagaigo.ac.jp/kuis/main/target/student/）からシラバス検索で該当科目を確認をしてください。
授業シラバス	

※は必須記入事項

ちば産学官連携プラットフォーム 単位互換共通シラバス

大学名 ※	神田外語大学	学部・学科名 ※	外国語学部
科目名 ※	日本倫理思想史ⅠA	単位数 ※	2
開講学期※	前期	曜日・時限 ※	月 2
キャンパス※	幕張キャンパス	教室※	未決定
学修分野			
授業目的 ※	〈授業の概要〉 日本倫理思想史の基礎的な内容の修得をめざす。日本の思想はしばしば他の地域の文化・思想の雑居態とみなされるが、その具体像はいったいどのようなものなのだろうか。本授業では、古代から中世までの日本倫理思想史の展開を大きくおさえる。 This course aims to help students acquire fundamental knowledge of the history/retrospect of the way of thinking in Japan. In this class, we will handle materials from ancient to medieval periods. 〈授業の形態〉 ・原則対面講義（対話回のみzoom）、google classroom使用。 〈必要な準備学習（必要となる時間）〉 予習：翌週使用資料の事前精読学習や課題等（2 時間） 復習：当該週の学習内容の整理と発展的思索（2 時間）		
到達目標	〈授業の目的と到達目標〉 我が国の倫理思想をめぐる豊かな教養を身につける。 Students will learn affluent knowledge of several types of Japanese ethical thoughts.		
授業内容			
授業形態	対面		

評価方法 ※	・全3回の小課題〔600字目安〕の成果（20点×3）、質問・「問い」の提出（10点×2）、対話参加（20点） ※ただし、「対話」回に1回も出席・参加していない場合には単位を発行しない。 ・学期末に実施予定のこの授業の「学び」に関する独自アンケートへの回答を単位認定の前提条件とする。
評価基準	
テキスト	なし
注意事項	この表はシラバス情報の一部となります。履修を検討される方は、必ず本学のホームページ上（https://www.kandagaigo.ac.jp/kuis/main/target/student/）からシラバス検索で該当科目を確認をしてください。
授業シラバス	

※は必須記入事項

ちば産学官連携プラットフォーム 単位互換共通シラバス

大学名 ※	神田外語大学	学部・学科名 ※	外国語学部
科目名 ※	メディア表現論Ⅰ	単位数 ※	2
開講学期※	前期	曜日・時限 ※	月 2
キャンパス※	幕張キャンパス	教室※	未決定
学修分野			
授業目的 ※	〈授業の概要〉 現在、低所得国に暮らす女子の何割が、初等教育を修了するでしょう？ A. 20% B. 40% C. 60% 世界のエリートたちのほとんどは、このクイズに正解することはできませんでした。皆さんも、ドラマティックなメディア報道の影響を受けて、実態と乖離した国際社会のイメージを抱いていませんか。メディアは、時に社会の一部を切り取ってそれがあたかも全体であるかのように報道します。本講義では、確かなデータを基に国際社会の状況を学ぶことを通じて、「エビデンスに基づいて考える」という力を身に付けます。自分の考えを説得的に表現するためには、データによる裏付けが不可欠です。教科書は、世界的なベストセラーとなった『FACTFULNESS』をメインに使用します。その他にも、統計やデータ分析に関する基本的な知識を教授します。授業は講義形式で行い、毎回簡単な授業内課題を課します（講義60分＋授業内課題30分）。 〈必要な準備学習〉 予習：テキストの該当範囲を読む。 復習：授業の配布資料を振り返る。		
到達目標	①データやエビデンスに基づいて表現する力を身につける。 ②国際社会の状況を事実に基づいて理解し、国際社会に貢献することができる。		
授業内容 授業形態	対面		

評価方法 ※	授業内課題や授業への貢献度を考慮して総合的に評価する。
評価基準	
テキスト	ACTFULNESS ハンス・ロスリング 日経BP 2018 9784822289607 データ分析の力：因果関係に迫る思考法 伊藤公一朗 光文社 2017 9784334039868 ヤバい統計学 カイザー・ファンク 阪急コミュニケーションズ 2011 9784484111025
注意事項	この表はシラバス情報の一部となります。履修を検討される方は、必ず本学のホームページ上 (https://www.kandagaigo.ac.jp/kuis/main/target/student/) からシラバス検索で該当科目を確認をしてください。
授業シラバス	ガイダンス（10の思い込みを乗り越え、データを基に世界を正しく見る） 「世界は分断されている」という思い込み 「世界はどんどん悪くなっている」という思い込み 「世界の人口はひたすら増え続ける」という思い込み 危険でないことを、恐ろしいと考えるという思い込み 「目の前の数字がいちばん重要だ」という思い込み 「ひとつの例がすべてに当てはまる」という思い込み 「すべてはあらかじめ決まっている」という思い込み 「世界は一つの切り口で理解できる」という思い込み 「誰かを責めれば物事は解決する」という思い込み 「いまずぐ手を打たないと大変なことになる」という思い込み 「FACTFULNESS」 著者のTEDを聴いてみる① 「FACTFULNESS」 著者のTEDを聴いてみる② 「FACTFULNESS」 著者のTEDを聴いてみる③ 授業の総復習

※は必須記入事項

ちば産学官連携プラットフォーム 単位互換共通シラバス

大学名 ※	神田外語大学	学部・学科名 ※	外国語学部
科目名 ※	英語統語論ⅠA	単位数 ※	4
開講学期※	前期	曜日・時限 ※	月3・木3
キャンパス※	幕張キャンパス	教室※	未決定
学修分野			
授業目的 ※	文を組み立てる際に、話し手が暗黙のうちに従っている規則性、「言語の仕組み」とはどのような成分から構成されているのか、またこの仕組みを律する法則とはどのようなものか、といった問題について考察する。具体的には英語と日本語の文構造について学ぶが、その過程でデータに基づき仮説を立てそれを検証する論証方法、生成文法の思考法を理解することに努める。 The goal of syntax is to characterize the (largely unconscious) knowledge that enables speakers of a language to form sentences. This course concentrates on how sentences are structured and explores the laws governing various syntactic phenomena. We will analyze data (mostly) from English and Japanese to understand the core concepts, methodology, analytical and abstract thinking that are necessary to do formal linguistics.		
到達目標			
授業内容			
授業形態	対面		
評価方法 ※	中間試験（30%）、期末試験（30%）、練習問題（40%）によって評価する。		
評価基準			
テキスト			
注意事項	この表はシラバス情報の一部となります。履修を検討される方は、必ず本学のホームページ上（https://www.kandagaigo.ac.jp/kuis/main/target/student/）からシラバス検索で該当科目を確認をしてください。		
授業シラバス			

※は必須記入事項

ちば産学官連携プラットフォーム 単位互換共通シラバス

大学名 ※	神田外語大学	学部・学科名 ※	外国語学部
科目名 ※	中国語学概論Ⅰ	単位数 ※	2
開講学期※	前期	曜日・時限 ※	月 3
キャンパス※	幕張キャンパス	教室※	未決定
学修分野			
授業目的 ※	この授業では、中国語とはどのような言語であるかを主に文法面から概説します。現代中国語の文法を体系的に理解できるようになることを目指しますが、前半は漢字の成り立ち、文字改革などについても触れます。また、中国語のことば遊び（物謎、字謎、しゃれ言葉、早口言葉）やことわざ、祝祭日のことば、慶弔のことばなどについても適宜紹介します。 This course aims to learn the grammar system of Chinese thus enabling you to understand how sentences are constructed. 【必要となる授業外学習時間】 講義の内容を復習し、ポイントをまとめておく（1-2時間）		
到達目標			
授業内容			
授業形態	対面		
評価方法 ※	授業参加度・課題への取り組みなどの平常点（60％）、中間発表（グループワーク・10％）、期末試験（30％）		
評価基準			
テキスト			
注意事項	この表はシラバス情報の一部となります。履修を検討される方は、必ず本学のホームページ上（https://www.kandagaigo.ac.jp/kuis/main/target/student/）からシラバス検索で該当科目を確認をしてください。		
授業シラバス			

※は必須記入事項

ちば産学官連携プラットフォーム 単位互換共通シラバス

大学名 ※	神田外語大学	学部・学科名 ※	外国語学部
科目名 ※	国際関係論 I B	単位数 ※	2
開講学期※	前期	曜日・時限 ※	月 3
キャンパス※	幕張キャンパス	教室※	未決定
学修分野			
授業目的 ※	紛争の絶えない国際社会で、どうしたら平和を築いていけるのか。この授業では過去の戦争・紛争ケースを学び、そこから平和への教訓を考えていきます。 This class examines the basic theories of IR by studying the modern history of globalization. War and Peace remain the most controversial topics in the 21st century.		
到達目標			
授業内容			
授業形態	対面		
評価方法 ※	毎回、冒頭に各自が持ち回りで関心を持った国際ニュースを紹介してもらいます。授業参加など平常点と期末試験を総合して評価する。自分でテーマを選んでプレゼンテーションすることも可。		
評価基準			
テキスト			
注意事項	この表はシラバス情報の一部となります。履修を検討される方は、必ず本学のホームページ上（https://www.kandagaigo.ac.jp/kuis/main/target/student/）からシラバス検索で該当科目を確認をしてください。		
授業シラバス			

※は必須記入事項

ちば産学官連携プラットフォーム 単位互換共通シラバス

大学名 ※	神田外語大学	学部・学科名 ※	外国語学部
科目名 ※	日本大衆文化論A	単位数 ※	2
開講学期※	前期	曜日・時限 ※	月 3
キャンパス※	幕張キャンパス	教室※	未決定
学修分野			
授業目的 ※	日本を代表する映画作品（実写・アニメ）に対する映像分析を行い、その作品のテーマにおける時代性や社会問題などを議論する。		
到達目標			
授業内容			
授業形態	対面		
評価方法 ※	授業貢献度50%、発表30%、授業課題20%		
評価基準			
テキスト			
注意事項	この表はシラバス情報の一部となります。履修を検討される方は、必ず本学のホームページ上（ https://www.kandagaigo.ac.jp/kuis/main/target/student/ ）からシラバス検索で該当科目を確認をしてください。		
授業シラバス			

※は必須記入事項

ちば産学官連携プラットフォーム 単位互換共通シラバス

大学名 ※	神田外語大学	学部・学科名 ※	外国語学部
科目名 ※	デジタルメディアと社会Ⅰ	単位数 ※	2
開講学期※	前期	曜日・時限 ※	月 3
キャンパス※	幕張キャンパス	教室※	未決定
学修分野			
授業目的 ※	〈授業の概要〉 Google、Twitter、Instagramなど、ネットやSNSは、皆さんの生活にとって不可欠なものとなっていると思います。しかしそこに溢れている情報は、インターネット特有の「クセ」があります。この授業では、その「クセ」の内容や原因及び、それがもたらす影響について様々な角度から学びます。具体的には、フェイクニュース、ネット炎上、SNSとビジネスなどをトピックとして扱います。授業は講義形式で行い、毎回簡単な授業内課題を課します（講義60分＋授業内課題30分）。 〈必要な準備学習〉 予習：授業で扱うトピックについて、自分なりの考えをまとめておく。 復習：授業の配布資料を振り返る。		
到達目標	①ネット上の情報の「クセ」と問題点を理解し、メディアリテラシーを高める。 ②ネットメディアが政治・経済・社会・文化に与える影響について、広く深い専門知識を身につける。 ③諸外国のインターネット事情を学ぶことを通じて、国際社会に貢献し得る教養を身につける。		
授業内容			
授業形態	対面		
評価方法 ※	授業内課題や授業への貢献度を考慮して総合的に評価する。		

評価基準	
テキスト	
注意事項	この表はシラバス情報の一部となります。履修を検討される方は、必ず本学のホームページ上（https://www.kandagaigo.ac.jp/kuis/main/target/student/）からシラバス検索で該当科目を確認をしてください。
授業シラバス	ガイダンス・本授業で扱う「問い」を総ざらいし、本授業で「何が学べるのか」を確認します。 ソーシャルメディアとは何か？・SNS、クチコミサイト、メッセージアプリ、動画共有サービス等、現代社会において広く利用されているソーシャルメディアについて、その概要と社会的影響を学びます。 SNSは似た者同士のつながりか？・フィルターバブルやエコーチェンバー、情報の選択的接触や社会の分極化等、インターネット上の情報の「クセ」の概要とそれがもたらす社会的影響を学びます。 SNSは「みんなの意見」なのか？・いわゆる「ネット世論」は本当に世論なのでしょう？ データを通して、実際の世論とネット世論とのズレを学びます。 フェイクニュースとは何か？①・国内外におけるフェイクニュースの事例やその社会的影響について学びます。 フェイクニュースとは何か？②・データを通して、フェイクニュースに接した際の人々の情報行動など、フェイクニュースの拡散実態について学びます。 フェイクニュースはなくせるのか？・ファクトチェックを始めとしたフェイクニュース対策の国内外における動向とその課題について学びます。 ネット炎上とは何か？①・いわゆる「ネット炎上」について、事例を通してその原因や社会的影響を学びます。 ネット炎上とは何か？②・いわゆる「ネット炎上」について、データを通して炎上加担者の実態を学ぶとともに、予防・対処方法を考えます。 メディアは我々の意識に影響を与えているのか？・議題設定機能、沈黙の螺旋理論などの伝統的なメディア効果論について、理論と実証を学びます。 インターネットは消費を喚起するのか？・Web上のクチコミの特性や経済効果をはじめとした、インターネットと消費行動の関係について学びます。 成功するSNSマーケティングとは？・いわゆる「インスタ映え」をはじめとしたSNSマーケティングについて、その仕組みや効果を学びます。 ソーシャルメディアとビジネス・インターネット時代の新たなビジネスモデルについて学びます。 インターネットを規制することは良いことなのか？・インターネットやフェイクニュースを規制する各国の政策や、民間事業者の取組について学びます。 これまでの授業の総復習

※は必須記入事項

ちば産学官連携プラットフォーム 単位互換共通シラバス

大学名 ※	千葉経済大学	学部・学科名 ※	経済学部・経営学科
科目名 ※	マーケティング論Ⅰ	単位数 ※	2
開講学期※	前期	曜日・時限 ※	月-3
キャンパス※		教室※	オンデマンド
学修分野			
授業目的 ※	さまざまな製品・サービスがあふれる現代において重要なことは、単に商品売るというだけではなく、顧客との良い関係性を構築し維持していくことだといえる。そのためには、マーケティングへの理解を深めていくことが求められる。また、企業は製品・サービスを生み出し、それを顧客へ届けるための一連のプロセスを検討している。良い製品を作り、適正な価格を定め、顧客へ届ける手段を考え、適切な情報を発信することで、顧客にとっての問題解決方法を提供している。この仕組みをデザインするマーケティングは企業の活動において欠かせない存在である。以上をふまえてこの授業では、企業と顧客をつなぐ重要な要素であるマーケティングに関する基本的な知識を学修していく。 なお、この科目は卒業認定・学位授与の方針のうち、特に【経営学に関する専門知識、思考力、学習目標1】に資する科目である。		
到達目標	マーケティングの基礎的な知識を修得することができる。また、学んだ知識をどのように応用していくべきかを意識することで、論理的に考える力を身に付けていく。社会の変化を読み取ることで、時代に流れる機微を感じ取りながら、世の中の現象を理解する力を育むことを狙いとする。		
授業内容 授業形態 ※	第1回 イントロダクション：授業のスケジュールや内容について 第2回 マーケティングとは何か：マーケティングの基本的な概念 第3回 マクロ環境の分析：ビジネスに影響を与える要因 第4回 マーケティング戦略の策定：企業の使命や事業の定義 第5回 マーケティングの基本枠組み：市場細分化とターゲティング 第6回 製品戦略①（製品の特徴）：製品の特徴や分類 第7回 製品戦略②（製品ライフサイクル）：製品ライフサイクルについて 第8回 製品戦略③（新製品の開発）：新製品開発のプロセス 第9回 価格戦略：価格設定の基本 第10回 流通チャネル戦略：マーケティング・チャネル・システム 第11回 プロモーション戦略①（コミュニケーションの開発）：コミュニケーション・プロセス 第12回 プロモーション戦略②（広告、PR）：マス・コミュニケーション 第13回 プロモーション戦略③（人的販売）：人的コミュニケーション 第14回 新時代のマーケティング：デジタル経済について 第15回 マーケティングのこれから：マーケティングの基礎を整理し今後の課題を検討する		

評価方法 ※	期末試験（50％）、授業内の課題（30％）、平常点（20％）で評価する。期末試験、授業内の課題では、学修の成果を確認する。平常点は、授業への取り組みを評価する。これらを総合的に考慮し評価を行う
評価基準	
テキスト	雨宮史卓編著[2022]『Next教科書シリーズ マーケティング論』弘文堂
注意事項	授業内では小論文形式の課題提出など、自分の考えを形にして表現する時間を設けるので、アウトプットを充実させるためにさまざまな事柄に関心を持ち、情報収集を心がける。 配布資料と授業内容を合わせて自分なりのノート作成を行う。
授業シラバス	https://syllabus.cku.ac.jp/syllabusgaku/default.asp?cdga=1

※は必須記入事項

ちば産学官連携プラットフォーム 単位互換共通シラバス

大学名 ※	千葉敬愛短期大学	学部・学科名 ※	現代子ども学科
科目名 ※	児童文化 I	単位数 ※	2
開講学期※	前期	曜日・時限 ※	月・3
キャンパス※	佐倉キャンパス	教室※	205教室
学修分野			
授業目的 ※	子どもが誕生して、見るもの聞くものその環境の全てが学習の対象となる乳幼児の成長の一つ一つの素材を紐解き、伝承文化(遊び・歌・絵本、他)、季節の子どもの行事・歌等を通して、子どもの心身の成長に合わせた保育の表現技術を広く学ぶ。		
到達目標	総合的な子ども理解(保育に関する知識)や(保育実技)、(保育技術)と使命感(自己管理)や(生涯学習)を備えた教育者・保育者を達成するため、子どもの日常を取り巻く様々な文化的活動の歴史を理解し、それぞれの分野を保育現場で生かすことができるよう視野を広げる。また、グループで研究に取り組むことによってより良い(コミュニケーションスキル)や(課題解決力)、(チームワーク)の大切さを身に付ける。【子どもの歌の歌唱・リズムダンスの振り付け、ミュージカル・コンサート等の実務経験を有する教員が、その経験を活かして、子どもの発達に応じた表現遊びを通して、遊び方の導入と言葉かけ、遊びの展開の実技の指導法、音楽表現とその必要性を指導する。】		
授業内容 授業形態 ※	ディスカッション、プレゼンテーション形式を中心とした演習を伴う講義授業である。指示された課題をテキスト・図書館の資料・インターネットやyouthbe等を活用して研究発表を行う。授業では項目毎にまとめのプリントを配付するが、口頭での説明や気付いたことは各自で記入し、A4ファイルにまとめておく。また、項目によっては授業内で課題の小テストを行う。毎授業では振り返りシートに学びや課題や改善点を記入する。		
評価方法 ※	授業態度を含め総合的に評価する。 季節・年中行事の歌(発表30点)、童謡童謡研究(発表30点:レポート30点)、認定絵本土補足の課題レポート(10点)		
評価基準			
テキスト	岡崎裕美・渡辺厚美 編著:コンパクト版保育内容シリーズ「音楽表現」(出版:一藝社)		
注意事項			
授業シラバス	https://kcn.u-keiai.ac.jp/up/faces/up/km/Kms00801A.jsp		

※は必須記入事項

ちば産学官連携プラットフォーム 単位互換共通シラバス

大学名 ※	帝京平成大学	学部・学科名 ※	健康医療スポーツ学部 医療スポーツ学科
科目名 ※	スポーツ心理学	単位数 ※	2単位
開講学期※	前期	曜日・時限 ※	月曜日 4 限
キャンパス※	千葉キャンパス	教室※	6-215
学修分野			
授業目的 ※	スポーツ心理学とはスポーツに関する心理学的な諸問題について研究する学問領域のことであり，応用心理学の一領域として捉えられています。本講義ではスポーツ心理学の基礎的な理論を中心に説明し，トピックに応じて実践的な利用法についても紹介していきます。		
到達目標	競技スポーツ，学校体育，健康スポーツなどに関連する心理的な諸理論を理解し，説明できるようになる。さらに，本講義で学んだことと，今まで自身が経験してきたこととの関連性についても考察できるようになる。		
授業内容 授業形態 ※	本講義ではスポーツに関わる領域（競技，学校体育，健康など）の内容を取り上げながら，学生の皆さんが将来目指す立場（競技者，指導者，教員，スポーツ医・科学スタッフなど）のトピックを学んでいきます。また，ワーク課題やグループディスカッションなどにより他者の経験を受容しながら，自身の心理面との比較も行います。		
評価方法 ※	定期試験の成績60％，平常点40％（授業内での毎回のレポート課題，授業時の取り組み）とし，総合して評価する。		
評価基準			
テキスト	「なし」 ※適宜プリントを配布する予定です。		
注意事項			
授業シラバス			

※は必須記入事項

ちば産学官連携プラットフォーム 単位互換共通シラバス

大学名 ※	淑徳大学	学部・学科名 ※	コミュニティ政策
科目名 ※	地域スポーツ概論	単位数 ※	2
開講学期※	2022年度 前学期	曜日・時限 ※	月曜4限
キャンパス※	千葉キャンパス	教室※	15-202
学修分野			
授業目的 ※	本授業の目的は、「スポーツ」の姿を多角的に検討することにより、地域とスポーツの関係を理解することである。		
到達目標	①地域とスポーツの関係について十分に理解し、それを他者に説明することができること。 ②地域活性化のために、スポーツがどのような役割を果たすことができるかを、他者に説明することができること。		
授業内容 授業形態 ※	スポーツは、「競技スポーツ」としての捉え方以外に、地域福祉、地方創生、地域活性化等、多様な捉え方につながる概念であると考えられる。本講義では、「地域」と「スポーツ」の関係を捉え直すとともに、PBLやサービスラーニングなど実践的な活動を取り入れつつ、スポーツの可能性について検討する。 授業形態は新型コロナウイルス感染の状況に応じて変化する可能性があるため2つの授業形態別に記す。 【遠隔授業】 オンデマンド講義形式を中心におこなう。授業の双方向性を実現するため、オンラインアプリケーションを用いることで学生相互の意見交換等を実施する。また、一部サービスラーニングをとり入れる。 【対面授業】 講義では、講義内容を70分程度、解説する。残りの20分程度で、授業内容について学生相互で振り返りを行う。また、授業ではPBL（プロジェクト型学修）やサービスラーニングなどのアクティブラーニングを採り入れる。		
評価方法 ※	レポート（中間レポート1回及び最終レポート1回）及び授業内での学修成果の発表に基づき評価を行う。		
評価基準	中間レポート30点、最終レポート40点、授業内で実施するワークの成果：30点 S:100～90点、A：89～80点、B：79～70点、C：69～60点、D：60点未満		
テキスト	ISBN：9784766423723, 「スポーツのちから：地域をかえるソーシャルイノベーションの実践」, 松橋崇史：金子郁容, 慶應義塾大学出版会, 2016年		
注意事項	地域における実践活動に必ず参加すること。（日程は、1回目の授業時に連絡する）		
授業シラバス	「ログイン画面へ」のボタンをクリックし、「ゲストユーザー」の文字をクリック、「シラバス照会」をクリックするとシラバス検索ができます。 https://passport-web.soc.shukutoku.ac.jp/up/faces/up/co/Com02401A.jsp		

※は必須記入事項

ちば産学官連携プラットフォーム 単位互換共通シラバス

大学名 ※	淑徳大学	学部・学科名 ※	コミュニティ政策
科目名 ※	法律社会と人権問題 A	単位数 ※	2
開講学期※	2022年度 前学期	曜日・時限 ※	月曜4限
キャンパス※	千葉キャンパス	教室※	12-101
学修分野			
授業目的 ※	現代社会が直面する基本的な諸課題に関する知識と総合的な判断力を身につけるため、日常生活における法律の意義・役割等について基礎的理解を深める。また、人権をめぐる法的問題を通じて、市民としての人権尊重や人権擁護に関する基本的な知識を修得する。本講義を通じて、規範的なものの見方を身につけるとともに、人権意識（守る、尊重しあう心）を高めることを主眼とする。		
到達目標	「淑徳大学千葉キャンパス基礎教育科目体系図」における社会理解科目の学習目標を踏まえ、現代社会が直面する基本的な法律問題に関する知識と総合的に判断し対処する能力を養うことを目指し、以下の3点を本講義の主な達成目標とする。 1 基本的な法学知識を修得すること（暮らしの中の様々な法や社会規範に対して問題解決の筋道をつけることができる基礎的知識を修得する） 2 法的思考力を修得すること（法的な観点から積極的に「考える」姿勢を身につける） 3 法的に説得力をもつディスカッションができること（物事、道理について筋道を立て（論理的に）考える力や説得力ある討議ができる能力を身につける）		
授業内容 授業形態 ※	各回において人権に関わるアクチュアルな法的問題を取り上げ、受講生の興味・関心を喚起する。身近な日常生活にて生起する疑問を大切にしながら、人権が論点となる法的紛争事例を中心として具体的に検討する。各回の授業内で提示される法的紛争事例の核心的な論点を析出し、妥当な解決策への道筋を考える能力の涵養に資する内容とする。 授業形態は新型コロナウイルス感染の状況に応じて変化する可能性があるため2つの授業形態別に記す。 新型コロナウイルス感染症の状況に応じて授業形態については変更があり得るが、ケースメソッドや受講生間のディスカッション等を適宜行う予定である。なお、弁護士等のゲスト講師を招聘する場合もある。 【遠隔授業】 配信授業動画等に関して学生の質問や意見を求める。そうした意見及び教員の見解を受講生全員で共有することにより、双方向型授業(アクティブラーニング)とする。 【対面授業】 基本的には講義形式の授業を行うが、アクティブラーニングの手法を活用する。学生から質問、意見を求めたり、学生によるプレゼンテーションの機会を設ける。 ■外部講師を招聘する授業回について ※外部講師（ゲストスピーカー）は、90分授業の一部分のみを担当します。 ※外部講師招聘日は外部講師の都合により変更となる可能性があります。		

評価方法 ※	筆答試験（あるいは期末レポート）、小テスト、小レポート、リアクションペーパー等を基にして評価を行う。
評価基準	筆答試験（あるいは期末レポート）については50点、小テストについては20点、小レポートについては20点、リアクションペーパー（提出内容の問題提起・論理性・説得力に基づき3段階評価）等については10点とする。
テキスト	ISBN 9784641009226, 「ポケット六法 令和4年版」, 佐伯仁志：大村敦志, 有斐閣, 2021年9月 なお、各回において講義レジュメを配布する予定です。
注意事項	他の総合教育科目、特に社会科学系の科目を受講し、各学問領域の思考方法に触れておく と良いでしょう。
授業シラバス	「ログイン画面へ」のボタンをクリックし、「ゲストユーザー」の文字をクリック、「シラバス照会」をクリックするとシラバス検索ができます。 https://passport-web.soc.shukutoku.ac.jp/up/faces/up/co/Com02401A.jsp

※は必須記入事項

ちば産学官連携プラットフォーム 単位互換共通シラバス

大学名 ※	神田外語大学	学部・学科名 ※	外国語学部
科目名 ※	文化人類学研究ⅠB	単位数 ※	2
開講学期※	前期	曜日・時限 ※	月 4
キャンパス※	幕張キャンパス	教室※	未決定
学修分野			
授業目的 ※	グローバル化が叫ばれる今日、文化理解の重要性はますます高まっている。これまで文化人類学は文化理解の一翼を担ってきたが、今日では、多様化した状況を捉えるために細分化や、ときに乱用までみられるようになった。そこで、この時間では、文化人類学がいかなる学問であったのかを再度振り返ってみようと考えている。つまり、文化人類学という学問の枠組みを再確認する概説的な時間となる。適宜、ビデオをみながら、文化人類学がいかに文化を通して他者理解に努めてきたのかを参加者と共有していきたい。概説なので、文化人類学ということばに初めて接する学習者に、文化人類学がいかに身近な学問であるかを伝え、相対的な見方を習得する。 The aim of this course is to deepen students' understanding of the base of cultural anthropology. In this course, you will understand that our lives are closely related to cultural anthropology. This course is intended for beginners of cultural anthropology.		
到達目標			
授業内容			
授業形態	対面		
評価方法 ※	平常のリアクションペーパーとレポートで評価する。		
評価基準			
テキスト			
注意事項	この表はシラバス情報の一部となります。履修を検討される方は、必ず本学のホームページ上（https://www.kandagaigo.ac.jp/kuis/main/target/student/）からシラバス検索で該当科目を確認をしてください。		
授業シラバス			

※は必須記入事項

ちば産学官連携プラットフォーム 単位互換共通シラバス

大学名 ※	神田外語大学	学部・学科名 ※	外国語学部
科目名 ※	児童英語教育論A	単位数 ※	4
開講学期※	前期	曜日・時限 ※	月4・木3
キャンパス※	幕張キャンパス	教室※	未決定
学修分野			
授業目的 ※	この講義は将来的に早期英語学習者を対象とする英語教師になるために、必要な理論や教育現場での実践活動を概観し、模擬授業などの実技演習にも取り組む。特に我が国における早期英語教育の全体像と新学習指導要領における小学校外国語活動と外国語科を理解し、自ら授業案を立案・指導できるようになるための入門基礎科目として関連内容を幅広く扱う。 In completing this course, each student will be able to: - Describe the policies, related theories, and the significance of the goals of foreign language education to young learners in Japan and teaching English at public elementary schools. - Understand teaching methodologies and the roles of teachers. - Develop teaching materials. - Plan and demonstrate English lessons in team-teaching for the target age of Japanese children.		
到達目標			
授業内容 授業形態	対面		
評価方法 ※	レポート・クイズ 30% 実技演習 40% 授業への貢献 30%		
評価基準			
テキスト			
注意事項	この表はシラバス情報の一部となります。履修を検討される方は、必ず本学のホームページ上（https://www.kandagaigo.ac.jp/kuis/main/target/student/）からシラバス検索で該当科目を確認をしてください。		
授業シラバス			

※は必須記入事項

ちば産学官連携プラットフォーム 単位互換共通シラバス

大学名 ※	神田外語大学	学部・学科名 ※	外国語学部
科目名 ※	韓国史概論Ⅰ	単位数 ※	2
開講学期※	前期	曜日・時限 ※	月 4
キャンパス※	幕張キャンパス	教室※	未決定
学修分野			
授業目的 ※	この講義では、朝鮮半島を中心とした地域の歴史を学び、その展開を東アジア史の中に位置づけながら理解することを目的とする。それによって日本列島の歴史をより相対的に理解するための視角を得ることができるだろう。前期のⅠでは古代～近世の歴史を学ぶ。 The aim of this course is to promote understanding of the history of development in the Korean Peninsula and its association with East Asian history.		
到達目標			
授業内容			
授業形態	対面		
評価方法 ※	中間・期末試験による。なお授業への積極的なとりくみも考慮する。		
評価基準			
テキスト			
注意事項	この表はシラバス情報の一部となります。履修を検討される方は、必ず本学のホームページ上（https://www.kandagaigo.ac.jp/kuis/main/target/student/）からシラバス検索で該当科目を確認をしてください。		
授業シラバス			

※は必須記入事項

ちば産学官連携プラットフォーム 単位互換共通シラバス

大学名 ※	神田外語大学	学部・学科名 ※	外国語学部
科目名 ※	日本大衆文化論B	単位数 ※	
開講学期※	前期	曜日・時限 ※	月 4
キャンパス※	幕張キャンパス	教室※	未決定
学修分野			
授業目的 ※	日本を代表する映画作品（実写・アニメ）に対する映像分析を行い、その作品のテーマにおける時代性や社会問題などを議論する。		
到達目標			
授業内容 授業形態	対面		
評価方法 ※	授業に対する貢献度（50％）、課題と発表（50％）		
評価基準			
テキスト			
注意事項	この表はシラバス情報の一部となります。履修を検討される方は、必ず本学のホームページ上（ https://www.kandagaigo.ac.jp/kuis/main/target/student/ ）からシラバス検索で該当科目を確認をしてください。		
授業シラバス			

※は必須記入事項

ちば産学官連携プラットフォーム 単位互換共通シラバス

大学名 ※	千葉経済大学短期大学部	学部・学科名 ※	ビジネスライフ学科
科目名 ※	金融論入門 A	単位数 ※	2
開講学期※	前期	曜日・時限 ※	月曜 5 時限
キャンパス※	千葉経済大学短期大学部	教室※	203
学修分野	卒業認定・学位授与の方針中のキャリアアップステージに位置づけられる。		
授業目的 ※	この講義では、社会における貨幣の役割について基本事項を理解し、金融の意義と課題について学びます。「金融論入門A」は、貨幣と金融取引の基礎、銀行の仕組みや中央銀行の役割等について学びます。金融業界は、デジタル通貨の登場によって大きな変化を遂げようとしています。こうした現状も踏まえ、未来の銀行やオルタナティブな金融取引についても触れながら講義を進めていく予定です。		
到達目標	①社会における貨幣の役割について理解する。 ②銀行業の役割について理解する。 ③中央銀行の役割と金融政策について理解する。		
授業内容 授業形態 ※	第1回 イントロダクション：講義概要の説明 第2回 貨幣とは何か①：貨幣の発展史 第3回 貨幣とは何か②：貨幣の定義と機能 第4回 金融システムと金融取引 第5回 金融取引の基本①：資本投資 第6回 金融取引の基本②：投資収益率と利子の関係 第7回 金融取引の基本③：投資収益率と利子の関係 第8回 銀行の役割①：企業の資金調達 第9回 銀行の役割②：銀行経営 第10回 銀行の役割③：情報の非対称性 第11回 銀行の役割④：システミックリスクと金融規制 第12回 銀行の役割⑤：未来の銀行 第13回 中央銀行①：銀行の銀行としての役割 第14回 中央銀行②：金融政策の基礎 第15回 中央銀行③：金融政策の現状		
評価方法 ※	テスト（60%）、レポート（20%）、授業への取り組みの能動性（20%）を考慮して評価する。中間レポートは講評するので、振り返りに利用してください。		
評価基準			

テキスト	指定なし。資料を配布して講義を進める。
注意事項	1週間のうち120分の予習と120分の復習時間をとること。
授業シラバス	https://syllabus.cku.ac.jp/SyllabusGaku/Syllabus.asp?cdga=2&nendo=2022&cdbl=2020

※は必須記入事項

ちば産学官連携プラットフォーム 単位互換共通シラバス

大学名 ※	淑徳大学	学部・学科名 ※	総合福祉 コミュニティ政策
科目名 ※	宗教と科学	単位数 ※	2
開講学期※	2022年度 前学期	曜日・時限 ※	月曜5限
キャンパス※	千葉キャンパス	教室※	12-101
学修分野			
授業目的 ※	宗教と科学それぞれの基礎的知識を養い、両者の関連性を把握し、あわせて人間生活における宗教の役割を考察する力を養う。		
到達目標	1. 社会現象としての宗教を対象化して人間理解として観る姿勢を培う。 2. 社会科学、自然科学の在り方を具体的テーマを通じて理解する。 3. 「宗教と科学」との関連を考察することの意味を把握することができる。		
授業内容 授業形態 ※	宗教と自然科学および社会科学との関連について知的な興味をもつ学生諸君の関心に応えて、人生と科学とのかかわりをさまざまな側面から学生諸君の理解に合わせて講述する。そのさい宗教と科学を架橋する考え方を平面的に解説するだけでなく、宗教の意味や役割を考察することにより、「宗教と科学」の問題を学生諸君が自分自身の課題として考える糸口になるようにしたい。 授業形態は新型コロナウイルス感染の状況に応じて変化する可能性があるため2つの授業形態別に記す。 【遠隔授業】配信授業動画等に関して学生諸君の質問や意見を求める。それらの意見や教員の見解を受講生全員で共有することでアクティブラーニングとする。 【対面授業】 授業は講義形式でおこなわれ担当者が毎回の授業運営にあたるが、約半数の授業では授業のなかに2人ずつのペアワーク、3人以上のグループワークといったアクティブラーニングを取り入れる。		
評価方法 ※	宗教現象を、人間理解の一助とし、社会科学、自然科学的文脈で対象化して理解し、「宗教と科学」との関連について理解するための授業内容に関する、事前・事後学習、小レポート		
評価基準	[評価基準の割合] 事前事後学習レポート30点、小レポート30点、授業内試験40点の計100点		
テキスト	※この科目では指定の教科書はありません。授業内で使用する資料等については、別途授業内でご案内いたします。		
注意事項	事前・事後学習を欠かさないこと。		
授業シラバス	「ログイン画面へ」のボタンをクリックし、「ゲストユーザー」の文字をクリック、「シラバス照会」をクリックするとシラバス検索ができます。 https://passport-web.soc.shukutoku.ac.jp/up/faces/up/co/Com02401A.jsp		

※は必須記入事項

ちば産学官連携プラットフォーム 単位互換共通シラバス

大学名 ※	神田外語大学	学部・学科名 ※	外国語学部
科目名 ※	メディア文化論ⅠA	単位数 ※	2
開講学期※	前期	曜日・時限 ※	月 5
キャンパス※	幕張キャンパス	教室※	未決定
学修分野			
授業目的 ※	4次産業革命の時代が始まったとされる今の時代において、テクノロジーの発展は社会を変えるだけではなく、人間存在の根源にも疑問を持ち込もうとしている。AIロボットという人間に類似した存在の登場だけではなく、人間そのものが機械化していける可能性が開いてきている。この授業ではサイボーグをテーマにした日本の作品を分析しながら、この時代の人間の変化の可能性について議論する。それらの作品では何を危惧し何を期待したのか。		
到達目標			
授業内容			
授業形態 ※	対面		
評価方法 ※	授業貢献度50%、授業課題50%		
評価基準			
テキスト			

注意事項	この表はシラバス情報の一部となります。履修を検討される方は、必ず本学のホームページ上 (https://www.kandagaigo.ac.jp/kuis/main/target/student/) からシラバス検索で該当科目を確認をしてください。
授業シラバス	オリエンテーション ppt.01 Neo Human/Peter 2.0: The Human Cyborg/ピーター・スコット・モーガン NHK クロース現代 ドキュメンタリー ppt.01 Neo Humanについてのディスカッション 『サイボーグ009』 (1964) 紹介ppt.01 『サイボーグ009』 (1964) ppt.02 『新造人間キャシャーン』 (1973) ppt.02 『新造人間キャシャーン』と『フランケンシュタイン』 ppt.03 『OZの魔法使い』 (1900) 『600万ドルの男The Six Million Dollar Man』 (1973 1978) 『地上最強の美女バイオニック・ジェミーThe Bionic Woman』 (1976—1978) スターワーズのダースベイダー ロボコップ (1987) ppt.04 『銀河鉄道999』 (1977-) ppt.04 『銀河鉄道999』 (1977-) ppt.05 『攻殻機動隊』 (1995) ppt.05 『攻殻機動隊』 (1995) ppt.05 『イノセンス』 (2004) ppt.05 『イノセンス』 (2004) 全体のふりかえと討論 全体のふりかえと討論

※は必須記入事項